

(3) 景観形成に向けた課題

1) 市全体の景観課題

課題1：ふるさとも感じさせる山並みへの眺望景観や、自然景観の大切さを再認識し、守り、後世に継承すること

甲府市の大きな景観特性である盆地特有の眺望景観や豊かな緑と水に代表される自然景観は、甲府らしい景観として多くの市民の心の拠り所となっています。

しかしながら、これまで当たり前のように眺めてきた山並みや豊かな自然環境を湛えていた河川空間などは、決して恒久的な景観ではなく、山並みへの眺望が遮られたり、水質汚濁や河川敷の荒廃などにより、あっという間になくなってしまうものであることを理解しておく必要があります。

ふるさと甲府を代表する景観であり、かつ甲府の誇りともなる眺望景観や自然景観のすばらしさを今まで以上に再認識し、それらを後世に継承することが重要です。

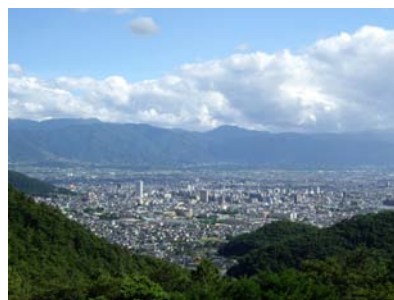
アンケート調査においても、後世に残していかなければならない景観として、「市街地の背後に広がる山並み」、「甲府盆地の景観」、「里山・丘陵地」、「河川景観」などが上位に挙げられています。



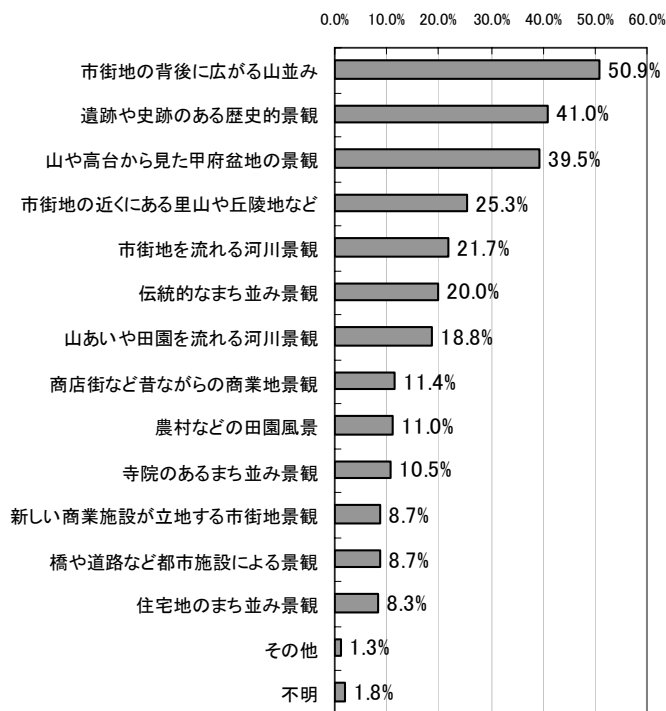
▲中高層の建築物によって分断される山並み（甲府市役所より）。



▲遠景の山並みへの眺望景観が近景の沿道施設等によって意識しづらくなっています。



▲甲府の誇りともなる眺望景観や自然景観のすばらしさを後世に継承することが重要です。



←アンケート調査問 11 集計結果
：子どもや孫の世代に残していかなければならない景観

課題2：歴史景観と都市景観が共存・調和する甲府らしいおもむきある景観をつくること

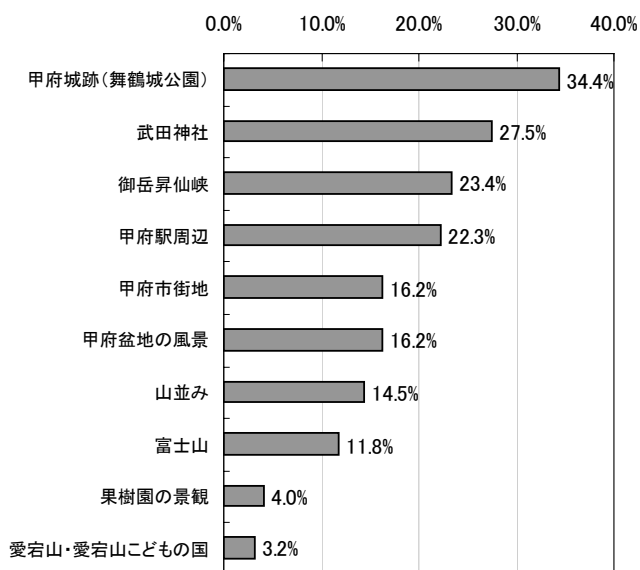
甲府市には古より地域の中心として発展してきた歴史を背景とした数多くの歴史的資源に恵まれ、それらは県都としての風格ある景観を醸し出しています。

アンケート調査でも特に甲府らしいと感じる景観の場所として、「甲府城跡（舞鶴城公園）」、「武田神社」が1位、2位を占め、いかに甲府の景観を象徴するものであるかが伺えます。

しかしながら、甲府城跡や武田神社など著名な神社仏閣などが、中心市街地内あるいは近接して立地するという特性から、都市的景観との共存が多くの市民に課題として認識されています。

また、JR 甲府駅を中心とした中心市街地などでは、甲府の顔としての都市景観が形成され、甲府らしいと感じる市民も比較的多くいますが、近年、マンションや屋外広告物等の統一感に乏しい都市景観が目立ち、県都としての風格があまり感じられなくなりつつあります。

さらに、中心市街地活性化も甲府市のまちづくり上の大きな課題であることから、景観的視点における対応策の検討も望まれるところです。



▲甲府城跡の風格を感じる石垣のある景観と金網フェンスや高層建築物の都市景観が混在しています。



▲歴史景観と都市景観の共存・調和が求められます。



▲JR 甲府駅前の景観には、県都としての風格が求められます。

←アンケート調査問4 集計結果（上位10項目）
：特に甲府らしいと感じる景観の場所

課題3:もてなしの心を持って、観光景観づくりにさらに力を注ぐこと

甲府市は豊かな自然・歴史資源を有した観光都市でもあります。甲府市の観光客入込状況は、近年横ばいから減少傾向にありましたが、ようやく観光キャンペーンやメディア等のPR効果で、次第に持ち直しつつあり（平成17年で9,594千人）、今後は、さらなる地域間競争への対応や市街地の特性を活かした都市型観光の振興、風光明媚な名勝景勝地等を生かした観光振興を図るため、それら観光資源及び周辺の観光的視点での景観づくりが求められるところです。

アンケート調査においても、行政が積極的に取り組むべき景観対策として、景観に配慮した公共事業を行うことが多くの市民から求められており、公共事業となる観光施設及びその周辺の景観整備の必要性が高いと言えます。

また、多くの観光客の玄関口であるJR甲府駅に至るまでの電車からの眺め＝「車窓景観」についても、甲府らしい景観としての配慮や演出が求められます。



▲新たな拠点となる史跡武田氏館跡にも配慮した景観づくりが求められます。



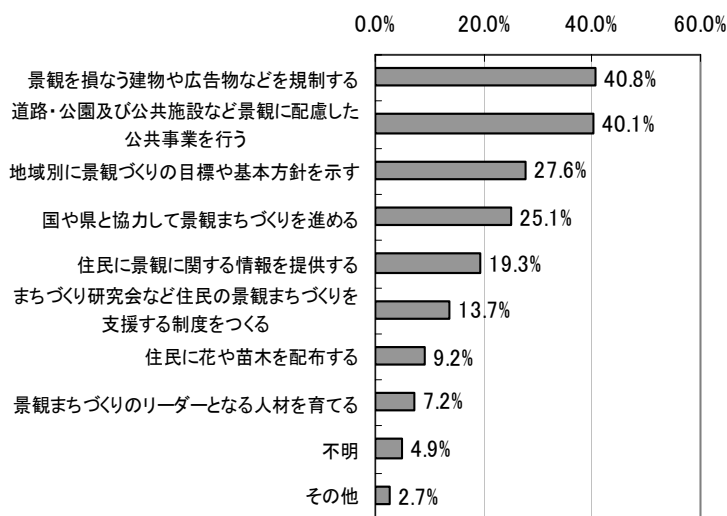
▲武田神社周辺のさらなる魅力アップのための景観づくりが求められます。



▲御岳昇仙峡周辺の自然景観に調和する道路付帯施設等きめ細やかな景観的配慮が求められます。



▲甲府駅に到着する前の車窓からの眺め。山並みが中層の建物と交錯しています。



↑ アンケート調査問 15 集計結果
 : 良好な景観を保全・形成するために、これから行政が積極的に取り組んでいくべきこと

課題4：地域の個性ある景観づくりのために、日常的な景観(風景)を活かすこと

著名な観光スポットとなっている自然・歴史景観などは、多くの市民や来訪者に意識され、その良し悪しが判断されるものですが、市民が日頃何気なく目にしている日常的な景観には、あまりその価値や阻害点などについて、客観的に判断できなくなっているものもあります。

例えば、郊外の集落部などには、数多くの歴史的資源が立地しています。それらは今でも大切に守られていますが、さらに地域のシンボルとして、かつ住民共有の財産として、周辺を含めた景観的保全・活用を行うことにより、地域の個性ある景観づくりを推進することが可能になります。

さらに、地域の人々が誇りと責任を持って自らの地域の景観を育んでいくことは、地域の個性ある景観づくりのためだけでなく、その過程を通しての地域コミュニティや地域内外の連携力の強化にもつながります。

アンケート調査においても、特に自由回答を見ると、住まい周辺の身近なところから始める景観づくりの必要性や、地域活動等による地域ぐるみの景観づくりの重要性など、大きな景観づくりを支える地域の景観づくりの必要性・重要性が指摘されています。



▲誇りと愛着の持てる地域の景観づくりを改めて考えることが大切です。



▲普段通り慣れた道路の景観は、甲府らしさや地域らしさを感じられるでしょうか。






▲日常的な景観にもはっとさせられます。



▲地域の伝説を含んだ景観資源にはそれ以上の価値があります。

2) 景観特性ゾーニングごとの景観課題

① 都 心 ゾ ー ン			
ゾーンの特徴的な景観課題			
<p>○都心部に立地する貴重な歴史資源と都市景観が調和・共存する、県都として、かつ甲府市の顔として、風格のある象徴的な景観づくりが求められます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府城跡（舞鶴城公園）などの歴史資源と中心市街地としての都市的景観が混在する景観的特性を最大限活かした、甲府市の顔となる先導的、象徴的な景観づくりが必要です。 ・都心ゾーンの景観的シンボルとしての甲府城跡（舞鶴城公園）、甲府市歴史公園周辺のおもむきある景観整備や、お城への眺望の確保などに配慮した景観づくりが必要です。 ・JR 甲府駅周辺地区の新たなまちづくりにあわせた甲府らしい総合的な景観づくりが必要です。 ・官公庁施設や商業業務施設が集積する平和通りを軸とした、県都にふさわしい風格ある景観づくりが必要です。 ・売場面積当たりの販売効率や吸引力の低迷など中心市街地の魅力低下が課題となっており、中心商業地活性化のためのにぎわい創出に寄与する景観づくりが必要です。 ・現況ではあまり甲府らしさが感じられない JR 甲府駅及び鉄道沿線の景観に対して、電車での玄関口としての観光的視点での景観づくりが望まれます。 			
市全体の景観特異性に見たその他の課題			
<p>ア.眺望景観や自然景観等ふるさとも感じさせる景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心部から見える山並みへの眺望景観を守ることが必要です。 ・平和通りの豊かな街路樹を守ることが必要です。 	<p>イ.歴史景観や都市景観等風格を感じさせる景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山並みと高層建築物等の屋並みの調和が必要です。 ・都市景観を煩雑にする看板等に対する景観的コントロールが望まれます。 ・歴史的建造物と隣接する建造物との景観的調和が望まれます。 	<p>ウ.観光客等来訪者に対する観光的景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路面舗装の修景や沿道の緑化等による歩いて心地よい歩行者空間の景観的配慮が必要です。 ・JR 甲府駅から主要な施設等への誘導看板などの甲府らしいデザインの検討が望まれます。 	<p>エ.市民の生活に密着した地域の個性としての日常的景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共公益施設等の親しみがあり、象徴的な景観整備が望まれます。 ・身近な憩いの場としてさらに利活用されるよう公園・広場の適切な維持管理の継続が必要です。
<p>◆写真—主な景観課題</p>			
			
<p>▲高層建築物と市街地の背景となる山並みのスカイラインとの景観的な調和が望まれます。</p>	<p>▲電車での来訪者が JR 甲府駅に到着して目にする景観としての配慮が望まれます。</p>	<p>▲駅前から眺める甲府の街並み景観に風格ある都市景観づくりが望まれます。</p>	

② 市 街 地 ゾ ー ン

ゾーンの特徴的な景観課題

○景観軸である①河川軸、②道路軸、③鉄道軸（駅）の景観保全及びコントロールによる景観づくりと、土地利用に応じた個性ある地域の景観づくりが求められます。

- ・荒川、相川、濁川など市街地を流れる主要な河川は、山並みへの眺望点、貴重な水辺空間としての保全と景観的修景が必要です。
- ・甲府市の象徴的な軸線である武田通り及び沿道周辺については、観光的視点も踏まえたさらなる景観整備が必要です。
- ・沿道立地施設や付帯する看板等により阻害されがちな山並みへの眺望景観や心地よさを確保するため、骨格的道路網を構成する国道 358 号、20 号、52 号、411 号などの良好な沿道景観形成のための適正な景観的コントロールが望ましい。
- ・都市の進展に伴い拡大されてきた市街地には画一的な景観となりがちで、地域の個性があまり感じられなくなっています。
- ・住みたいと思わせる良好な住宅地の景観づくり、地域の景観と調和する工業地の景観づくりなど土地利用に応じた適切な景観コントロールが必要です。
- ・現況ではあまり地域の個性が感じられない鉄道駅周辺や小中学校等の教育施設周辺において、地域の玄関口として、また地域のシンボルとしての景観づくりが望まれます。

市全体の景観特性別に見たその他の課題

ア.眺望景観や自然景観等ふるさと感じさせる景観	イ.歴史景観や都市景観等風格を感じさせる景観	ウ.観光客等来訪者に対する観光的景観	エ.市民の生活に密着した地域の個性としての日常的景観
<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路等の軸線上に見られる山並みへの眺望景観の確保が望まれます。 ・丘陵部や山地から市街地への美しい眺望景観を確保するための景観的コントロールが望まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都心ゾーンへの入り口となる主要な交差点については、風格を感じさせる修景整備が望まれます。 ・地域の拠点として存在する山梨学院大学は落ち着いた都市景観を呈しており、周辺を含めた一体的な景観誘導が望まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や美術館、博物館等の観光的資源でもある施設及びその周辺については、そこを訪れる人々をあたたく迎え入れる景観的演出等が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤川、沼川など身近な小河川の水辺空間としての景観整備が望まれます。 ・神社仏閣等の身近な歴史資源の保全と調和を図った周辺の修景整備が望まれます。

◆写真—主な景観課題



▲河川軸の例：背後の山並みと調和した荒川の景観軸を保全していくことが望まれます。



▲道路軸の例：来訪者にも甲府らしさをアピールする武田通りの象徴的な景観整備が望まれます。



▲鉄道軸の例：地域の玄関口としての鉄道駅周辺の景観整備が望まれます。

③ 田園集落ゾーン

ゾーンの特徴的な景観課題

○古の歴史を守り活かした地域の個性ある景観づくりと、田園や河川及びそれらと一体となった山並みへの眺望を守り活かす景観づくりが求められます。

- ・中道地区に見られる古墳群や中道往還などの歴史資源は、甲府市の個性ある景観づくりに活かすことが望まれます。
- ・地域に残る神社仏閣、道標、古民家等の身近な歴史資源の保全と、それらを活かした地域の個性ある景観づくりが望まれます。
- ・果樹園や水田等の近景となる田園景観と遠景となる山並みへの眺望景観の一体的な保全が必要です。
- ・景観軸である笛吹川は、山並みへの眺望点、貴重な水辺空間としての保全と景観的修景が必要です。

市全体の景観特性別に見たその他の課題

ア.眺望景観や自然景観等ふるさとも感じさせる景観	イ.歴史景観や都市景観等風格を感じさせる景観	ウ.観光客等来訪者に対する観光的景観	エ.市民の生活に密着した地域の個性としての日常的景観
<ul style="list-style-type: none"> ・果樹園や水田等の緑、オープンスペースとしての保全が必要です。 ・下曽根橋など笛吹川に架かる橋梁の景観的演出や山並み等への眺望景観の確保が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落部等に見られるしっとりとしたおもむきのある景観の保全とそのPRが望まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車で甲府市への玄関口となる中央自動車道甲府南IC周辺については、来訪者をあたたかく迎え入れる景観的演出等が望まれます。 ・郊外部から市街地へのアクセス案内、主要な施設等への誘導看板などの甲府らしいデザインの検討が望まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のシンボルでもある小中学校等の教育施設を中心とした景観整備が望まれます。

◆写真—主な景観課題



▲田園景観と一体となった眺望景観は市民の原風景として保全が必要です。



▲下曽根橋付近からの眺望景観。視界が開ける河川空間では道路付帯施設が目立ちます。



▲古墳と一体となった曾根丘陵公園。地域の特徴ある景観資源として守り活かすことが重要です。

④ 山 裾 ゾ ー ン

ゾーンの特徴的な景観課題

○武田神社等歴史資源、山梨英和大学など拠点景観資源を中心とした特徴ある景観づくりと、市街地から間近に見える丘陵へ眺望を守り活かす景観づくりが求められます。

- ・甲府市のシンボルの一つである武田神社は、歴史資源としてのさらなるおもむきある景観整備と、観光的視点による周辺の拠点景観整備が必要です。
- ・周辺の景観に溶け込む良好な景観を呈している山梨英和大学を中心とし、周辺を含めた一体的で特徴的な地域の景観づくりが必要です。
- ・貴重な景観資源としての丘陵部の緑の継続的保全が必要です。
- ・背景となる丘陵部の稜線と景観的に調和していない高層建築物も見られることから、それらの屋並みに対する景観コントロールが必要です。
- ・都市化の進展にともない、丘陵部にも住宅が立地する状況を踏まえ、低地部からの眺望景観に配慮した景観的コントロールが望まれます。

市全体の景観特性別に見たその他の課題

ア.眺望景観や自然景観等ふるさと感じさせる景観	イ.歴史景観や都市景観等風格を感じさせる景観	ウ.観光客等来訪者に対する観光的景観	エ.市民の生活に密着した地域の個性としての日常的景観
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の原風景となっている丘陵部に広がる果樹園等の景観的保全と周辺の建築物等に対する景観的コントロールが望まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・甲斐善光寺、東光寺、円光院、法泉寺、塩沢寺などの歴史資源の保全と甲府らしい景観づくりへの活用が望まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・湯村温泉、健康の森、緑が丘スポーツ公園、愛宕山こどもの国等、多様な人々が訪れる施設等の景観に配慮し修景整備が望まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のシンボルでもある小中学校等の教育施設を中心とした景観整備が望まれます。 ・神社仏閣等の身近な歴史資源の保全と修景整備が望まれます。

◆写真—主な景観課題



▲丘陵の緑と果樹園が成す景観は市民の原風景として守り後世に残したい資源です。



▲武田神社及びその周辺は甲府市の景観的シンボルとして風格づくりと来訪者へのさらなるアピールが必要です。



▲塩沢寺などは景観上の地域資源として守りたい大切なものです。

⑤ 山 地 ・ 山 岳 ゾ ー ン

ゾーンの特徴的な景観課題

○御岳昇仙峡等拠点の観光資源を活かした観光的視点での景観づくりと、豊かな自然環境を有する緑と水の自然景観を守り活かす景観づくりが求められます。

- ・市民になじみ深い御岳昇仙峡は貴重な自然資源としてだけでなく、観光資源としての景観の保全と駐車場、トイレ等における来訪者をもてなす修景整備が必要です。
- ・観光ルートともなる昇仙峡ライン、昇仙峡グリーンライン、精進ブルーライン等の沿道においては、周辺の自然景観に配慮した看板や案内板、道路付帯施設等の景観的コントロールが望まれます。
- ・豊かな自然環境を有する山地・山岳地の緑の保全と、千代田湖、能泉湖、荒川、芦川などの水辺空間の保全が必要です。

市全体の景観特異性に見たその他の課題

ア.眺望景観や自然景観等ふるさとも感じさせる景観	イ.歴史景観や都市景観等風格を感じさせる景観	ウ.観光客等来訪者に対する観光的景観	エ.市民の生活に密着した地域の個性としての日常的景観
<ul style="list-style-type: none"> ・甲府らしい眺望景観を構成する山並みの貴重さを再認識することが必要です。 ・峠等からの市街地、富士山等への眺望点の確保と修景整備が望まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積翠寺、永泰寺、金桜神社、夫婦木神社などの歴史資源の保全と周辺の自然景観や地域らしさに配慮した景観整備が望まれます。 ・集落部等に見られるしっとりとしたおもむきのある景観の保全と PR が望まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点へのアクセス案内、主要な施設等への誘導看板などの周辺の自然景観と調和するデザインの検討が望まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神社仏閣等の身近な歴史資源の保全と修景整備が望まれます。

◆写真—主な景観課題



▲豊かな自然環境を有する山地・山岳地の緑と水辺の保全が必要です。



▲金桜神社の鳥居。周辺の自然環境の中にあつて朱色の鳥居が象徴的な景観を呈しています。



▲誘導看板等の周辺の自然景観と調和する素材の使用、デザイン等の景観への配慮が必要です。

